

第 42 回大分 NST 研究会報告

2026 年 8 月 1 日、40 度近い猛暑の中、第 42 回大分 NST 研究会を開催することができました。テーマを「食欲と栄養管理」とし、各演題、ご講演ともに活発なご討議をいただきまして大分県の NST 活動を知るよい会になったのではないかと思います。

一般演題では国立病院機構西別府病院副院長の佐々木 淳先生、同病院 NST 専任看護師の坂本 明菜先生に座長の労をいただき、5 演題発表がありました。各施設での NST の取り組みや、在宅での自己決定支援など、幅広い内容について有意義な議論ができました。

① 本人主体の支援により行動変容を経験した 1 症例

一介護支援専門員として本人の自己決定支援に寄り添った支援を通して—

wonderwall 介護支援専門員 島村 このみ先生

② 当院における NST 介入の現状

大分県立病院 栄養管理部 管理栄養士 御手洗 麻美先生

③ KT バランスチャート導入による NST カンファレンスの変化

津久見市医師会立津久見中央病院 看護部 看護師 小野 智佳子先生

④ NST 介入により経腸栄養から経口栄養へ完全移行できた 2 症例を振り返る

JCHO 南海医療センター リハビリテーション科 言語聴覚士 矢野 友莉香先生

⑤ 食道癌患者の初診時の栄養状態の検討

大分大学医学部付属病院 栄養管理支援センター 管理栄養士 本田 麻美先生

基調講演は国立病院機構西別府病院副院長の佐々木 淳先生に「脳性麻痺における骨折：栄養・炎症の観点から」の題名でご講演いただきました。脳性麻痺患者の骨折予防における栄養管理の重要性について学ぶことができました。

特別講演では「食べたい」を支える力ー食欲・咀嚼から考える栄養管理ーと題しまして大分大学医学部看護学科 基盤看護学講座 健康看護学領域 加隈 哲也教授よりご講演いただきました。加齢による認知機能の衰えからくる食欲低下や、咀嚼による満腹中枢への影響など、脳科学の分野からもご講演いただきました。ご参加された皆様方におかれましても大変有意義な時間になったのではないかと思います。

座長の労をいただいた先生方、演題とご講演いただいた先生方、共催である株式会社大塚製薬工場には多大なるご支援を賜り、無事に会を終える事ができました。深く感謝申し上げます。

以上甚だ簡単ではございますが報告とさせていただきます。

第 42 回大分 NST 研究会 当番世話人

津久見市医師会立津久見中央病院 葛城 功

樋口 愛美



熊本地震について話される管先生



一般演題座長 佐々木 淳先生 坂本 明菜先生



島村 このみ先生



御手洗 麻美先生



小野 智佳子先生



矢野 友莉香先生



本田 麻美先生





基調講演 脳性麻痺における骨折：栄養・炎症の観点から
西別府病院副院長 佐々木 淳先生



基調講演・特別講演座長
津久見中央病院副院長 葛城 功先生



特別講演 「食いたい」を支える力ー食欲・咀嚼から考える栄養管理ー
大分大学医学部 看護学科教授 加隈 哲也先生



講師・座長の先生方と研究会運営スタッフ

2026 年 8 月 1 日
大分県医師会館